

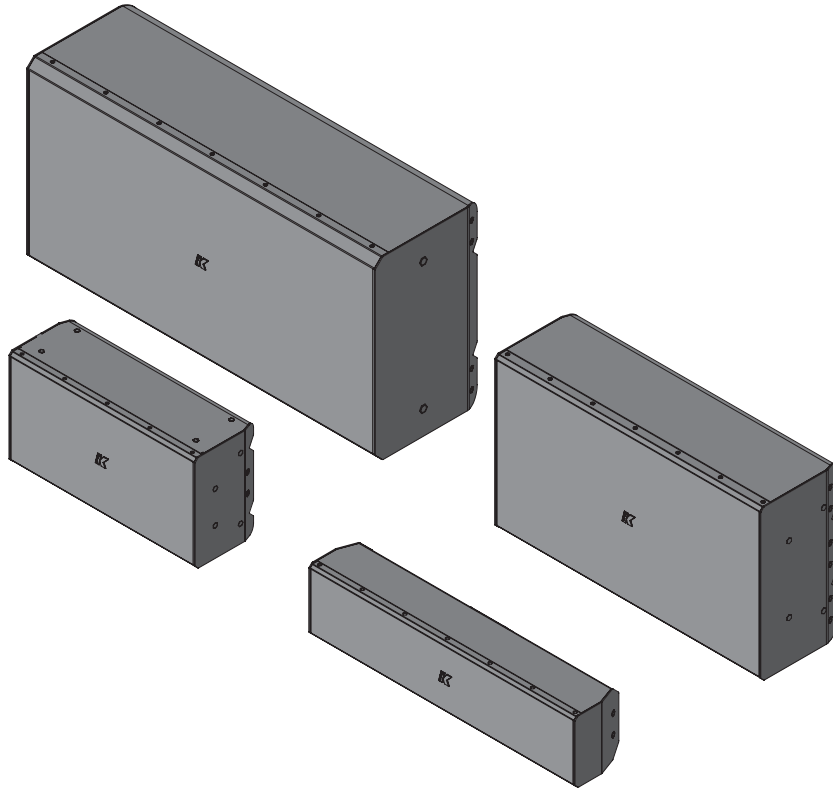
Rumble-KU

Stainless steel passive subwoofers

USER GUIDE



•20241008•



一般的な注意と警告

- この説明書をお読みください。
- この説明書を保管してください。
- すべての警告に注意してください。
- すべての指示に従ってください。
- 本機を水の近くで使用しないでください。
- お手入れは乾いた布のみで行ってください。
- 換気口をふさがれないこと。製造元の指示に従って設置してください。
- ラジエーター、暖房器具、ストーブなど、熱を発する器具(アンプを含む)の近くには設置しないこと。
- 極性プラグやアースプラグの安全上の目的を破らないこと。極性プラグには2つのブレードがあり、一方が他方より幅広くなっています。接地プラグには2つのブレードと3つ目の接地ブロングがあります。幅の広いブレードや3番目の突起は、安全のために設けられています。付属のプラグがコンセントに適合しない場合は、電気技術者に相談し、旧式のコンセントを交換してください。
- メーカー指定のアタッチメント/アクセサリのみを使用してください。
- 電源コードは、特にプラグや便利なレセプタクル、装置から出る部分で、歩いたり挟まれたりしないように保護してください。
- 本製品のお手入れは、乾いた柔らかい布で行ってください。製品の表面を傷つける恐れがあるため、液体洗剤は絶対に使用しないでください。
- メーカー指定のカート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルを使用すること。カートを使用する場合は、転倒によるけがを避けるため、カートと本機の組み合わせで移動するときは注意してください。
- 雷雨のときや長時間使用しないときは、本機の電源プラグを抜いてください。
- 直射日光の当たる場所や、紫外線(UV)を発生する器具の近くには置かないでください。
- 修理を依頼される場合には、販売店印ご購入日が明記された保証書が必ず必要です。電源コードやプラグが破損している、液体をこぼした、物を落下させた、雨や湿気にさらされた、正常に動作しない、落下させたなど、本機に何らかの損傷がある場合は、修理が必要です。
- 注意:**この取扱説明書は、有資格のサービス担当者のみが使用できるものです。感電の危険を避けるため、有資格者以外は取扱説明書に記載されている以外の整備を行わないでください。
- 警告:**製造元が指定または提供するアタッチメント/アクセサリ(専用電源アダプタ、バッテリーなど)のみを使用してください。
- 警告:**住宅環境で本装置を操作すると、電波障害を引き起こす可能性があります。
- すべての機器の電源をオンまたはオフにする前に、すべての音量レベルを最小に設定してください。
- スピーカーとスピーカー端子の接続には、スピーカケーブルのみを使用してください。特にスピーカーを並列接続する場合は、アンプの定格負荷インピーダンスを必ず守ってください。



安全上の注意書き



CAUTION
RISK OF ELECTRIC SHOCK
DO NOT OPEN



ATTENTION: RISQUE DE CHOC ELECTRIQUE NE PAS OUVRIR

**CAUTION: TO REDUCE THE RISK OF ELECTRIC SHOCK,
DO NOT REMOVE COVER (OR BACK).
NO USER-SERVICEABLE PARTS INSIDE.
REFER SERVICING TO QUALIFIED SERVICE PERSONNEL.**

**要注意: 感電防止のため、開けないでください。
またカバー(もしくはバック部分)を外さないでください。
内部にユーザーによる修理が可能な部分はありません。
有資格のサービス担当者に修理を依頼すること。**



この記号は、製品の使用と保守に関する推奨事項の存在を警告するものです。



正三角形内の矢印付き点滅記号は、感電の危険性がある絶縁されていない危険な電圧が製品筐体内に存在することを警告するためのものです。



正三角形内の感嘆符は、本ガイドに重要な操作およびメンテナンス(整備)の指示があることを警告するためのものです。



取扱説明書
この記号は、操作説明書に関連する取扱説明書を示し、この記号のある場所の近くで装置または制御装置を操作する場合は、操作説明書を考慮する必要がありますを示しています。



屋内専用
この電気機器は、主に屋内用に設計されています。



WEEE
本製品は、使用期間が終了したら、お近くの回収場またはリサイクルセンターまでお持ちください。



このデバイスは、有害物質制限指令に準拠しています。

警告



これらの安全に関する指示に従わない場合、火災、感電、その他の人身事故、装置またはその他の物的損害が発生する恐れがあります。

本装置は業務用です。

設置および試運転は、資格のある担当者のみが行ってください。

- アンプの定格範囲外の負荷インピーダンスを接続すると、本機が破損することがあります。
- K-arrayは、ラウドスピーカーの不適切な使用による損害について責任を負いません。
- K-arrayは、事前の許可なく変更された製品について、いかなる責任も負いません。

CEについて

K-arrayは、本装置が適用されるCE規格および規則に準拠していることを宣言します。本装置を動作させる前に、各国固有の規制を遵守してください!



商標について

すべての商標はそれぞれの所有者に帰属します。

このたびは、K-array製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます!

本製品を正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書および安全上のご注意をよくお読みください。この取扱説明書をお読みになった後は、必ず大切に保管してください。この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

Rumble-KUは、超小型でありながらパワフルなK-arrayのオリジナル・ベース・システムです。KU26、KU44、KU210、KU212で構成され、いずれも拡張された低域レスポンスを誇り、電子的に保護されています。

すべてのRumble-KUは、最大限のリニア・エクスカーションと最小限の残留ノイズのために設計されており、拡張された低域レスポンスと選択可能なインピーダンスを誇ります。

Rumbleサブウーファーは、パッシブ・ラジエーターを使用しているため、開口部がなく、異物から完全に遮断され、特に屋外での使用に適しています。高品質のオーディオ性能に妥協することなく、人目につかないように設計されています。

Rumbleラインは、K-array Lizard、Vyper、Tornado、Anakondaスピーカーとの完璧なコンビネーションです。この組み合わせにより、卓越した出力とほとんど目立たないプロフィールでフルレンジの周波数特性が得られます。

目次

主な特徴

KU44 I

KU26

KU210

KU212

開梱

配置

配線

LOWインピーダンス配線

HIGHインピーダンス配線

アンプチャンネルマッチング

設置方法

自立設置

埋め込み設置 壁埋め込み/天井埋め込み

壁埋め込み設置用アクセサリ

K-WALL2 / K-WALL2L

K-WALL2での取り付け

K-WALL2Lによる設置

技術仕様

ランブル-KU26

ランブル-KU210

ランブル-KU212

アフターサービス

6

6

6

6

6

7

7

8

8

8

8

9

9

10

12

12

12

13

15

15

16

17

18

主な特徴

- 小型ながら高性能
- 耐久性に優れたステンレススチール製
- プレミアム仕上げとカスタマイズ
- ダブルボイスコイルと選択可能なインピーダンス
- 壁掛け用専用アクセサリ付属
- オプションの壁埋め込みマウント・フレームによる埋め込み設置

Rumble-KU44 I

- 2x 4"ロングエクスカーションウーファー
- 2x 4"パッシブブラジエーター
- インピーダンス選択可能 8 Ω / 32 Ω
- 45 Hz - 150 / 500 Hz (-6 dB) 拡張周波数特性
- (幅×高さ×奥行き) 500×116×100 mm (19.7×4.6×4.0 インチ)

Rumble-KU26

- 6インチ ロングエクスカーションウーファー
- 6インチ・パッシブブラジエーター
- インピーダンス選択可能 8 Ω / 32 Ω
- 45 Hz - 150 / 500 Hz (-6 dB) 拡張周波数特性
- 専用アクセサリによるセルフパワー機能
- (幅×高さ×奥行き) 350 x 180 x 118 mm (13.8 x 7.1 x 4.6 インチ)

Rumble-KU210

- 10インチ ロングエクスカーションウーファー
- 10インチ・パッシブブラジエーター
- インピーダンス 4 Ω / 16 Ω 選択可能
- 40 Hz - 150 Hz (-6 dB) 周波数特性
- (幅×高さ×奥行き) 500 x 282 x 151 mm (19.7 x 11.1 x 5.9 インチ)

Rumble-KU212

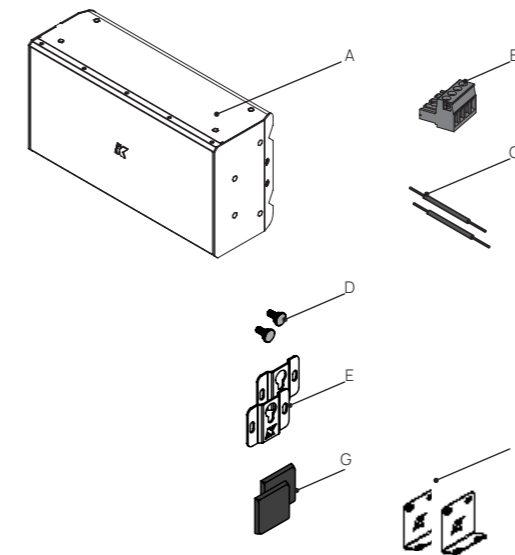
- 12インチ ロングエクスカーションウーファー
- 12インチ・パッシブブラジエーター
- インピーダンス 4 Ω / 16 Ω 選択可能
- 35 Hz - 150 Hz (-6 dB) 周波数特性
- (幅×高さ×奥行き) 655×330×200 mm (25.8×13.0×7.9 インチ)

開封

各 K-array 製品は最高水準で製造され、工場出荷前に徹底的に検査されます。到着後、輸送箱を注意深く点検し、新しい製品を検査、テストしてください。破損を発見した場合は、直ちに運送会社にご連絡ください。以下の部品が製品に同梱されていることをご確認ください。

- A. 1x Rumble-KU サブウーファー
- B. 1x 4PINユーロブロック、Phoenix 2,5/ 4-ST-5,08対応
- C. 2x ジャンパーワイヤー
- D. 2x ビボットネジ x K-WALLUF2
- E. 2x K-WALLUF2マウントブラケット
- F. K-WALLUF L-ブラケット*
- G. 2x 粘着ゴム製スペーサー

*Rumble-KU26/KU210/KU212パッケージに2倍搭載。
Domino-KF210/KF210MおよびDomino-KF212/KF212Mパッケージで4倍。



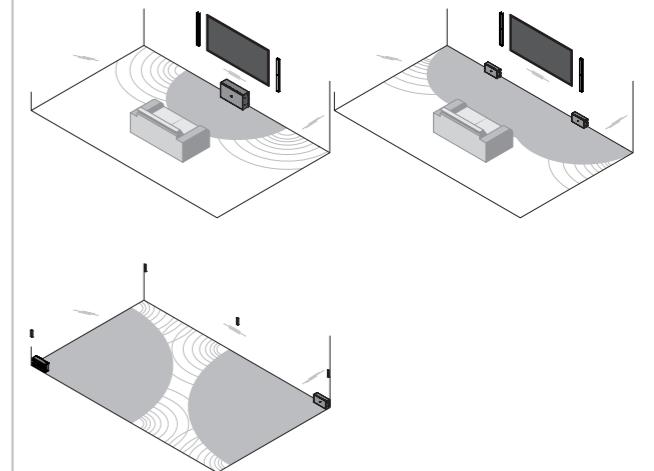
配置

Rumble-KUサブウーファーは、K-arrayラインアレイやポイントソース・ラウドスピーカーの周波数特性を拡張するために設計されています。

サブウーファーは基本的に無指向性のサウンドエミッターなので、ハイ/ミッドスピーカーの間のほぼどの位置にも設置できます。サブウーファーの性能は特定の空間との相互作用に影響されるため、普遍的な解決策はありません。

リスニングポジションの前にサブウーファーを配置するのが最も一般的です。特に、ラウドスピーカーが広範囲に配置されている構成では、必須ではないにしても、左右対称であることは歓迎されます。

コーナーや壁際に直接設置すると、床や壁から跳ね返ってくる音がサブウーファーの音を大きくします。



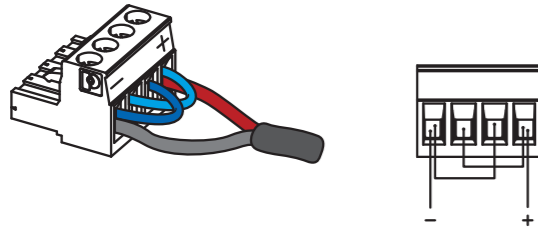
配線

Rumble-KUサブウーファーは、接続とリンクを容易にするために、Phoenix 2,5/4-ST-5,08互換フライングプラグ用のユーロブロック4ピンインレットを備えています。

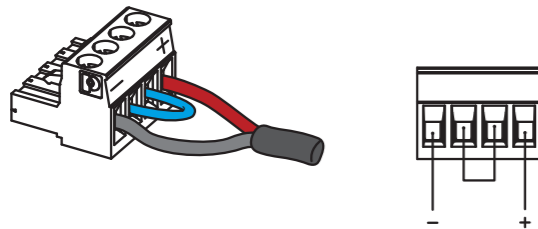
適切なラウドスピーカー・インピーダンスを選択するために、フライング・プラグの4つの端子を以下のように配線してください。

	LOW-Z	HIGH-Z
Rumble-KU44 I	8 Ω	32 Ω
Rumble-KU26	8 Ω	32 Ω
Rumble-KU210	4 Ω	16 Ω
Rumble-KU212	4 Ω	16 Ω

LOWインピーダンス配線



HIGHインピーダンス配線



アンプチャンネルマッチング

同じアンプチャンネルに並列接続できるRumble-KUサブウーファーの数は、ラウドスピーカーモデル、ラウドスピーカーのインピーダンス、アンプのパワーによって異なります。

アンプを接続する前に、必ずラウドスピーカーのインピーダンスを必ず確認してください。

パラレル接続は、トータルの負荷インピーダンスを下げます。パラレル接続されたサブウーファーの負荷インピーダンスをアンプの最小負荷インピーダンス以上に維持するように注意する必要があります。1つのアンプチャンネルで駆動できる最大ラウドスピーカー数の詳細については、K-arrayウェブサイトのアンプとスピーカーのマッチング表をご参照ください。



サブウーファーケーブルをアンプに接続する前に：

- 特に複数のラウドスピーカーをパラレル接続する場合、ラウドスピーカーのインピーダンスがアンプのチャンネル定格負荷インピーダンスと一致していることを確認してください；
- アンプのDSPに、ラウドスピーカー専用のファクトリープリセットをロードする。

ラウドスピーカーを駆動する前にKommander-KAアンプに適切なラウドスピーカーのファクトリー・プリセットをロードしてください。

設置方法

Rumble-KUサブウーファーは、平らな面への自立設置、壁面へのアップリケ設置が可能です。

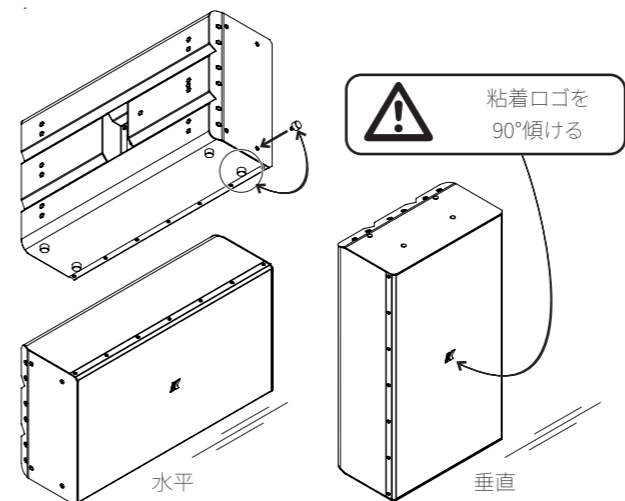
専用の取り付けフレーム・アクセサリを使用すれば、Rumble-KU44 I、Rumble-KU26、Rumble-KU210を壁埋め込み型と天井埋め込み型のいずれにも設置できる。

写真ではRumble-KU210のみですが、Rumble-KU44 I、Rumble-KU26、Rumble-KU210のいずれにも適用できます。

自立設置

Rumble-KUサブウーファーは、底面にねじ込まれた4つのゴム足を備えています。ゴム足は、ラウドスピーカーの右側にある4つのM4ネジ穴に沿って調整することができ、ユーザーは垂直に自立するためにサブウーファーを傾けることができます。

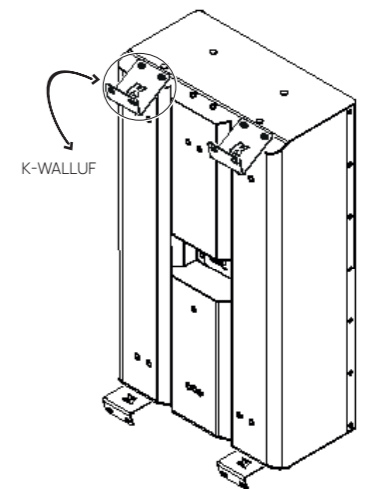
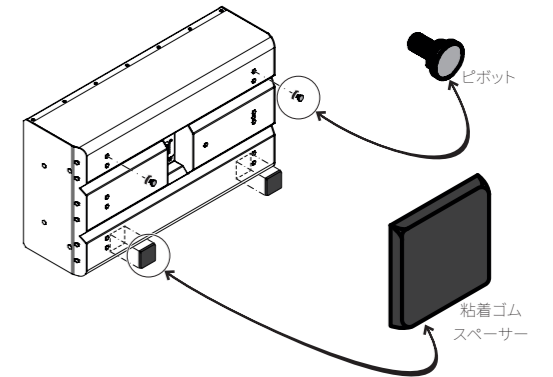
垂直に設置した場合、フロントのK-arrayロゴはそれに応じて回転します。フロントK-arrayロゴは粘着ラベルです。



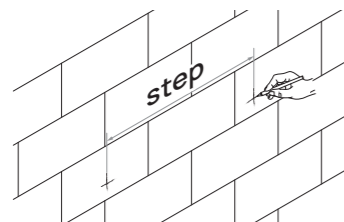
壁設置

同梱のピボットとK-VWALLアクセサリを使用すれば、あらゆる平面にRumble-KUアップリケを取り付けることができます。

- 1 ピボットを背面のネジ穴にねじ込みます。粘着ゴムのスペーサーをラウドスピーカーの底面に密着させます。

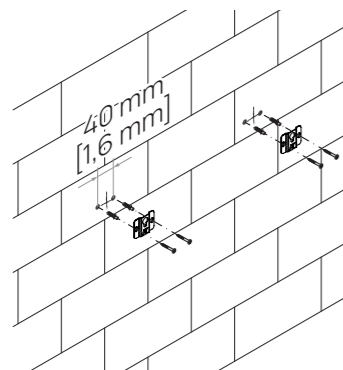


2 吊り点の間の段差を表面にサインする:

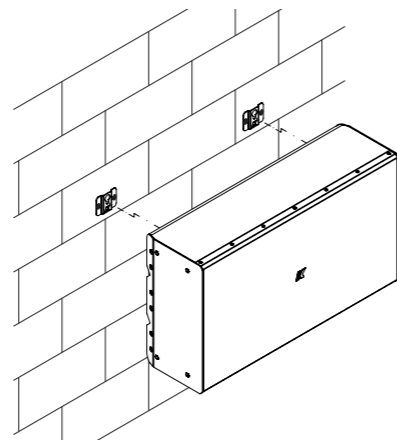


	水平I	垂直
Rumble-KU44 I	356 mm (14,0 in)	-
Rumble-KU26	224 mm (8,8 in)	-
Rumble-KU210	374 mm (14,7 in)	202 mm (7,9 in)
Rumble-KU212	529 mm (20,8 in)	262 mm (10,3 in)

3 K-VWALL用の穴を開け、表面に固定する。



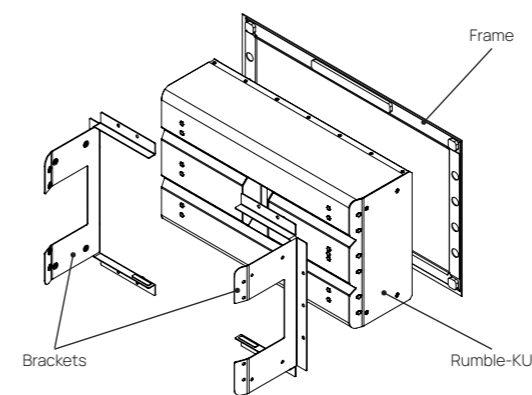
4 Rumble-KUサブウーファーを取り付けます。



埋め込み設置・壁・天井埋め込み

Rumble-KU44I、Rumble-KU26、Rumble-KU210サブウーファーには、壁埋め込み設置用の取付フレームが別売アクセサリとして用意されています。

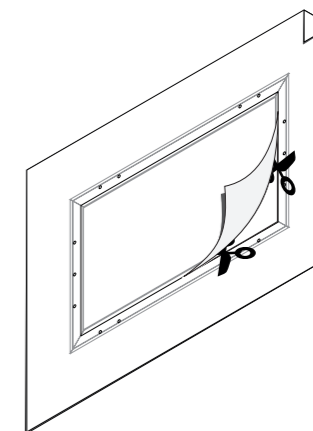
	壁掛け用アクセサリ名
Rumble-KU44 I	K-WF44
Rumble-KU26	K-WF26
Rumble-KU210	K-WF210
Rumble-KU212	利用不可



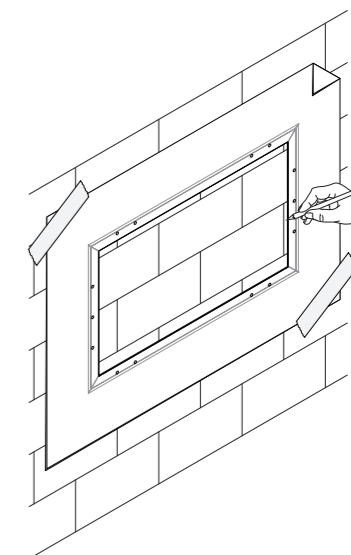
1 取り付けフレームの組み立てを開始する前に、Rumble-KUサブウーファー用の穴あけテンプレートをダウンロードして印刷し、凹部の表面をカットしてください。

	取付アクセサリのダウンロードページ
Rumble-KU44 I	https://www.k-array.com/en/accessory/k-wf44
Rumble-KU26	https://www.k-array.com/en/accessory/k-wf26
Rumble-KU210	https://www.k-array.com/en/accessory/k-wf210

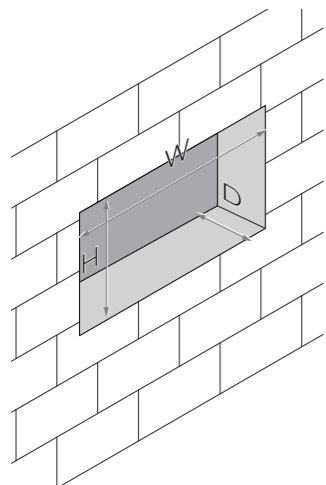
2 穴あけ用テンプレートに印刷されている指示に従ってカットする。



3 穴あけ用テンプレートを取り付け面に当て、凹部の刃先を描く。

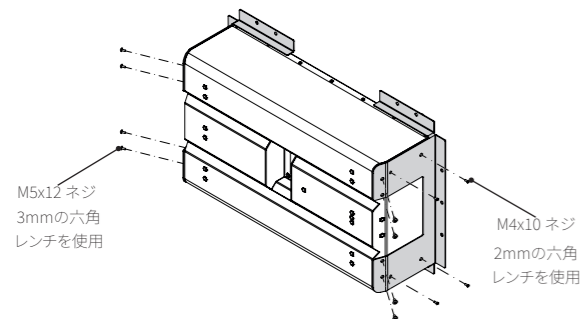


4 凹みをカットする。

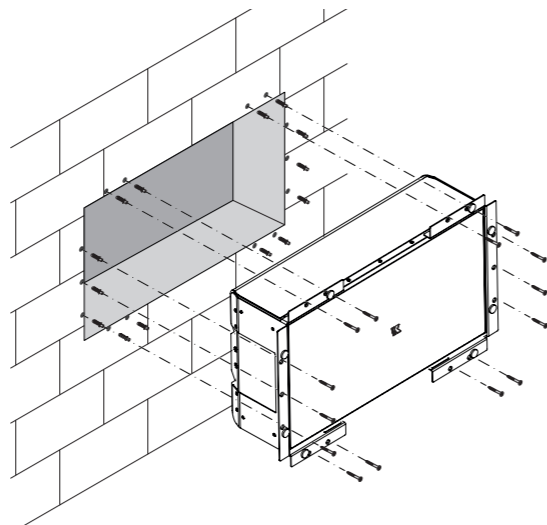


	W	H	D (min)
Rumble-KU44 I	511 mm (20,11 in)	130 mm (5,11 in)	105 mm (4,13 in)
Rumble-KU26	361 mm (14,21 in)	193 mm (7,59 in)	123 mm (4,84 in)
Rumble-KU210	511 mm (20,11 in)	297 mm (11,69 in)	155 mm (6,10 in)

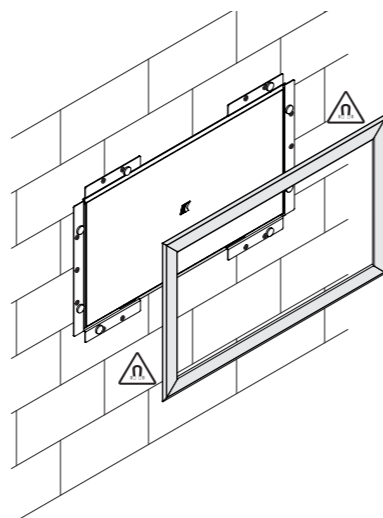
5 ブラケットをRumble-KUの側面に固定します。



6 Rumble-KUサブウーファーとブラケットで構成されるアセンブリを凹部に取り付けます。



6 Rumble-KUサブウーファーの上にマグネットフレームを貼り付けます。



壁埋め込み設置用アクセサリ

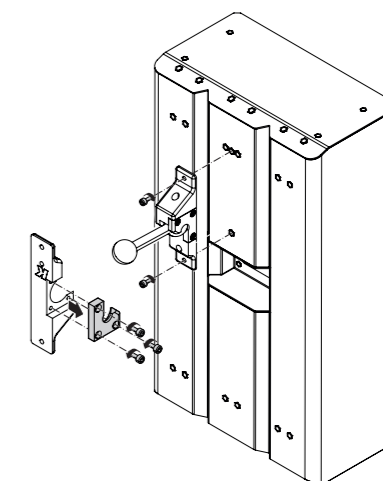
K-WALL2 / K-WALL2L

どのRumble-KUも、K-WALL2とK-WALL2Lの2つの専用取り付けブラケットを別途購入することで、壁面に取り付けて傾斜させることができます。K-WALL2とK-WALL2Lの組み立てに関する詳細はこちらをご覧ください: K-arrayウェブサイトのコラムスピーカー用アクセサリの組み立て

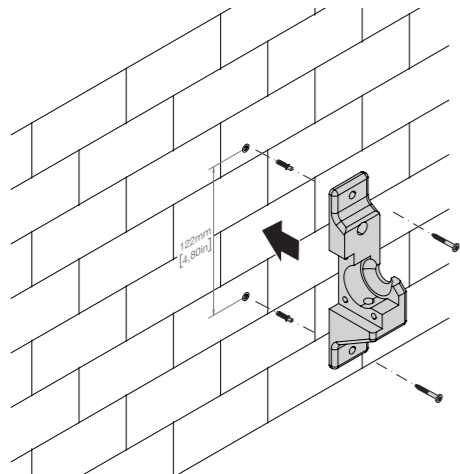


K-WALL2を使用した設置

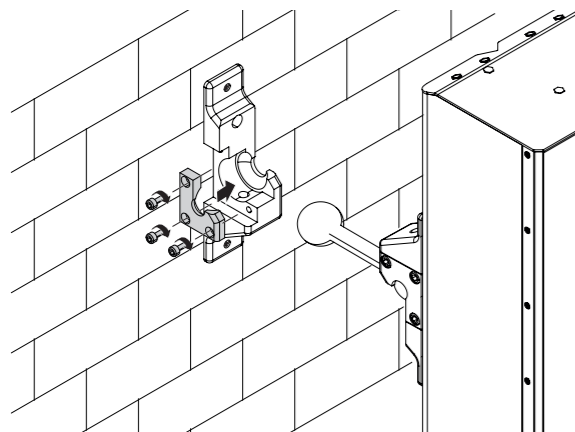
- A** K-WALL2を分解し、表面に固定するブラケットの横板を取り外します。
- B** ブラケットをスピーカーに取り付けます。



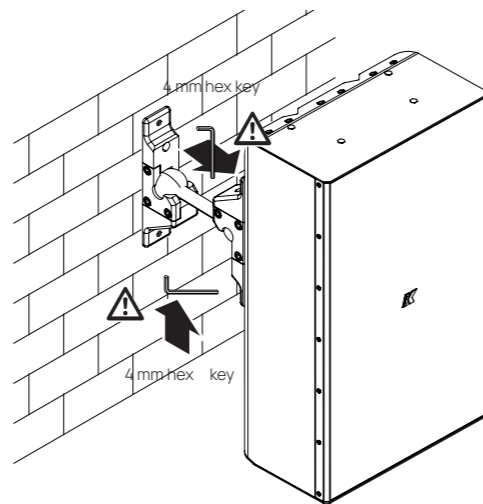
- C** 表面に122mm間隔で2つの穴を開け、ブラケットを取り付けます。



- D** ブラケットの2つのパーツを合わせ、壁に取り付けた方の横板を組み立てて固定する。

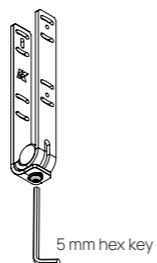


- F** スピーカ側と壁側のブラケットを固定するネジを締めます。最後にRumble-KUを壁に取り付けます。

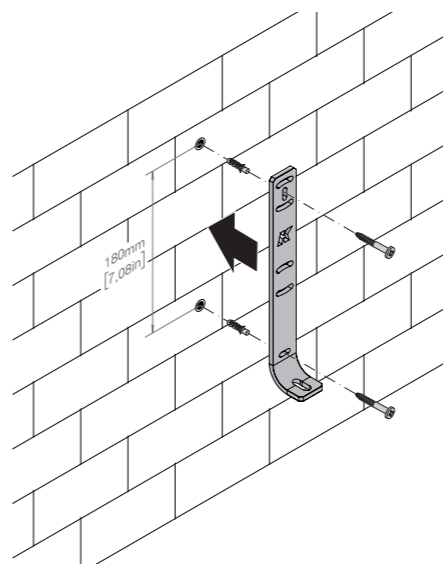


K-WALL2Lを使用した設置

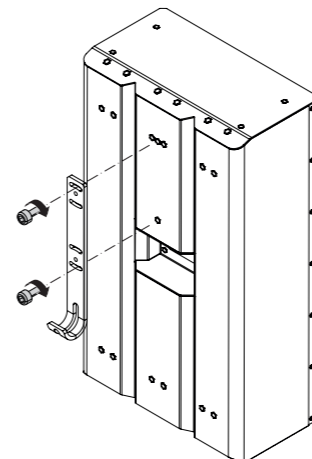
- 1** K-WALL2Lを分解し、表面に固定するブラケットの底部のネジを外します。



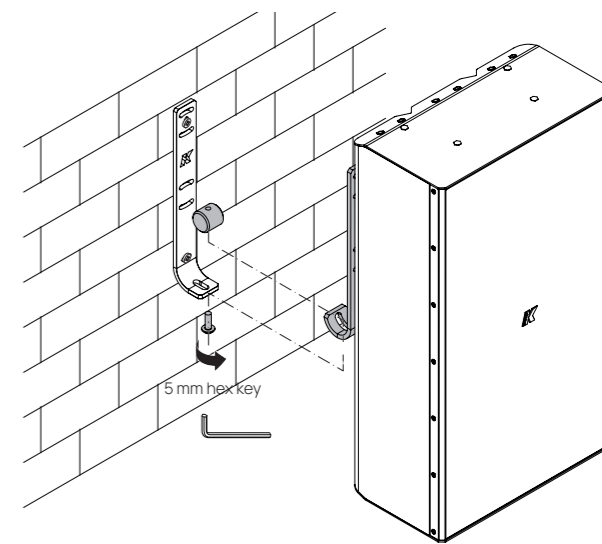
- 2** 表面に180mm間隔で2つの穴を開け、K字型の穴を持つブラケットを取り付けます。



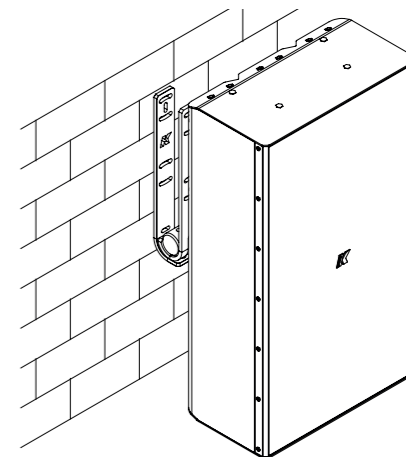
- 3** ブラケットをスピーカーに取り付けます。



- 4** ブラケットの2つのパーツを合わせて固定する。

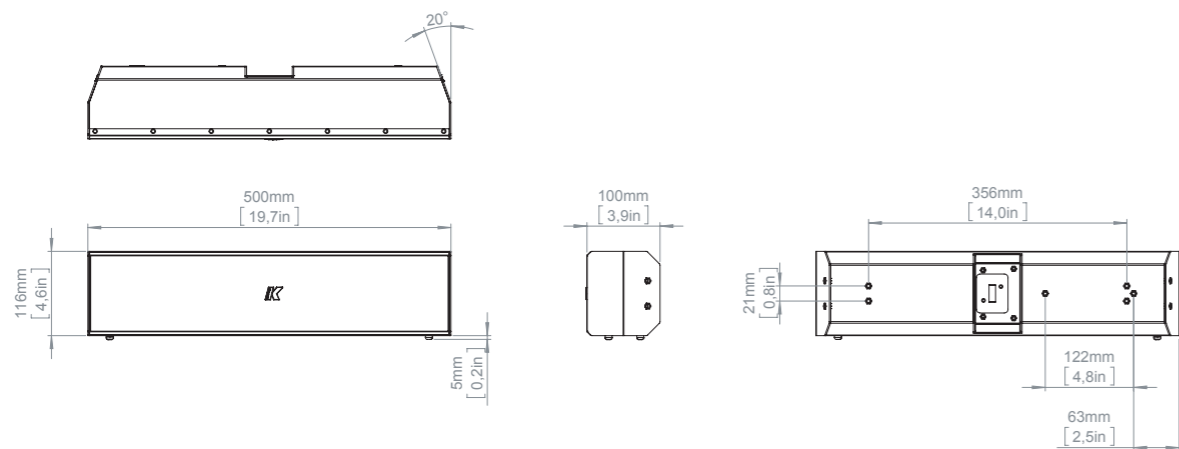


- 6** RumbleにK-WALL2Lが装着されました。

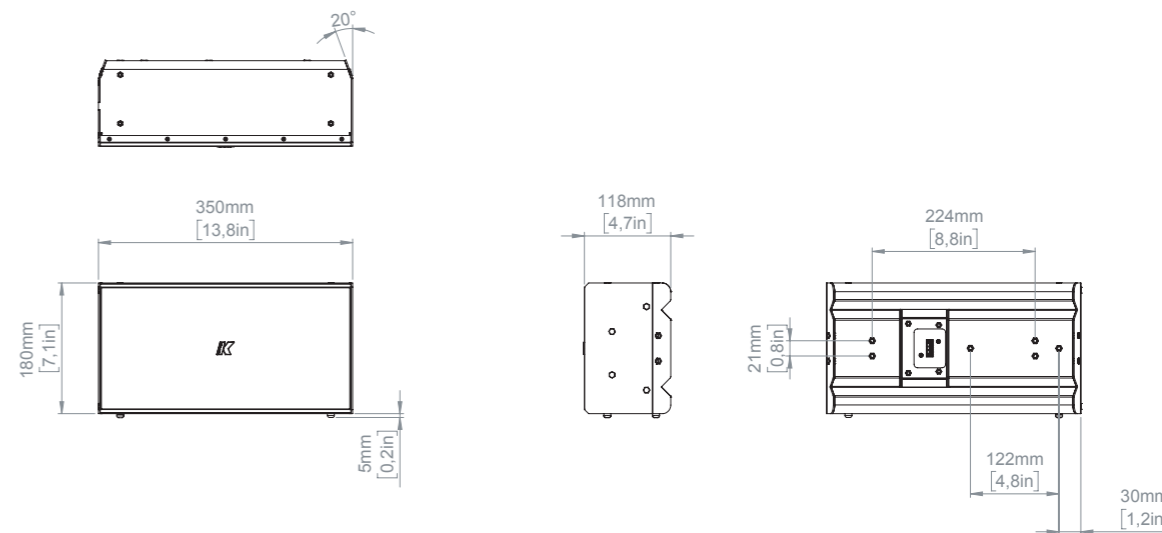


機械図面

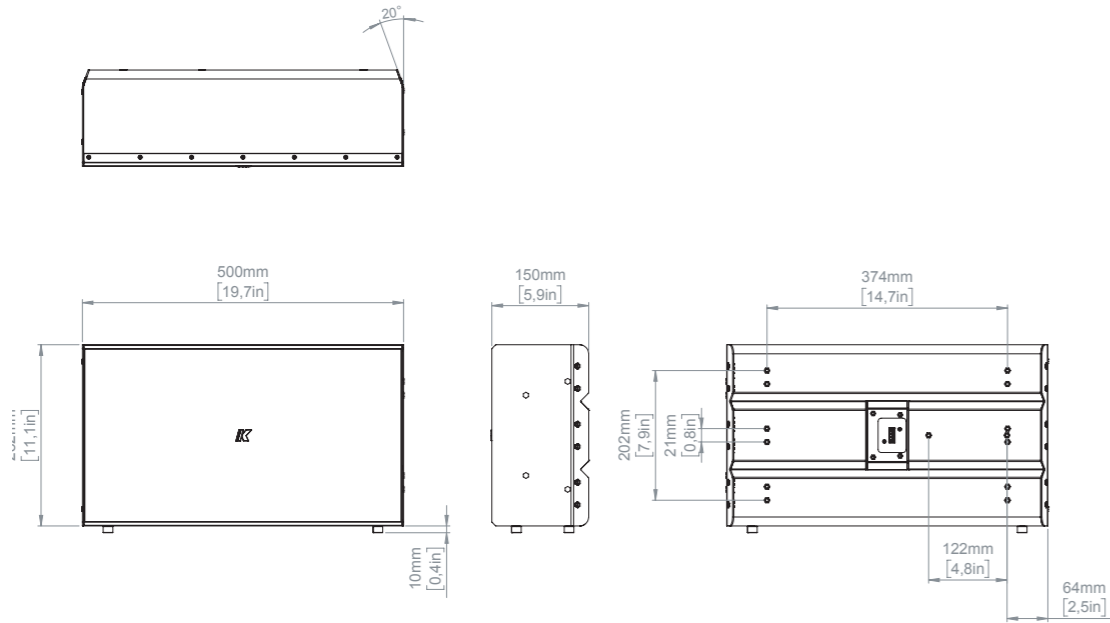
Rumble-KU44



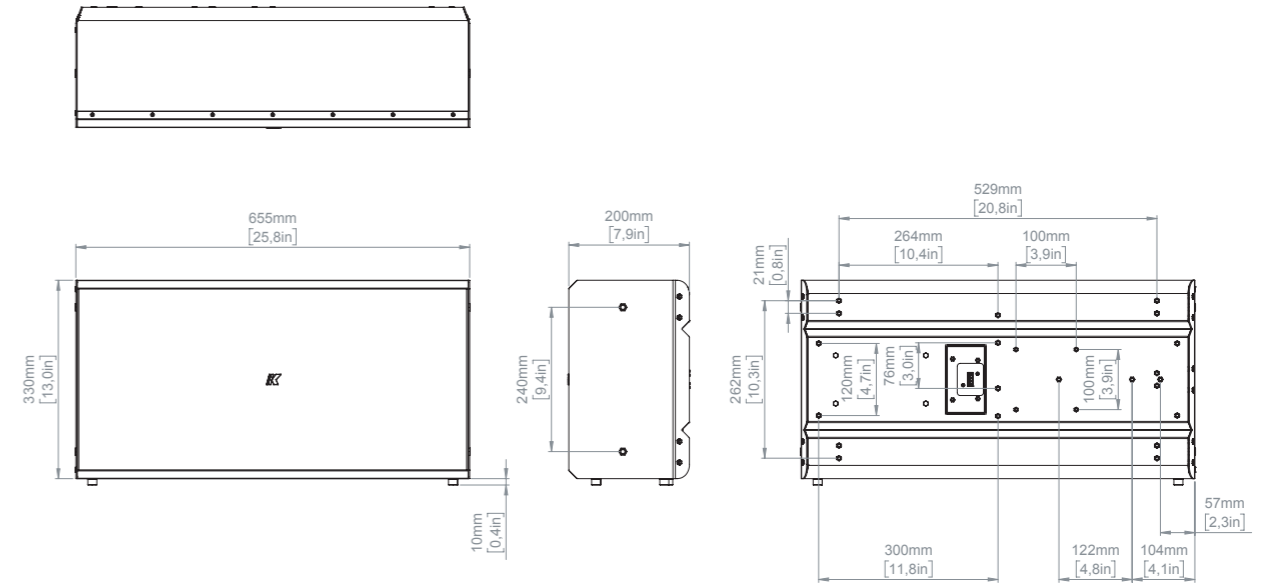
Rumble-KU26



Rumble-KU210



Rumble-KU212



アフターサービス

アフターサービスを受けるには：

1. お手元にシリアル番号をご用意ください。
2. お住まいの国の K-array 販売代理店にご連絡ください。カスタマーサービスに、問題を明確かつ完全に説明してください。
3. オンライン・サービスのご連絡を差し上げます。
4. 電話で問題が解決できない場合は、修理のためにユニットをお送りいただくことがあります。この場合、RA (Return Authorization) 番号が発行されますので、修理に関するすべての発送書類および通信書類に記載してください。送料は購入者に請求されます。

デバイスのコンポーネントを変更または交換しようとすると、保証が無効になります。修理はK-arrayの認定サービスセンターで行ってください。

クリーニング

筐体のクリーニングには、柔らかい乾いた布のみを使用してください。溶剤、化学薬品、アルコール、アンモニア、研磨剤を含む洗浄液は使用しないでください。製品の近くでスプレーを使用したり、開口部に液体がこぼれないようにしてください。



輸入販売代理店:株式会社オーディオブレインズ
〒216-0033 神奈川県川崎市宮前区宮崎649-3 TEL:044-888-6761
<https://audiobrains.com/>

Designed and Made in Italy

K-ARRAY surl
Via P. Romagnoli 17 | 50038 Scarperia e San Piero - Firenze - Italy
ph +39 055 84 87 222 | info@k-array.com

www.k-array.com